

ぐるり39

～自治調査会だより～

2015
9

NO.024

[発行日]
2015.9.1



【写真提供】新島村 【撮影場所】羽伏浦海岸

- ▶ 自転車とまちづくりに関する調査研究
結果発表シンポジウムを開催しました! 2
- ▶ 平成26年度 調査研究報告書の紹介
「市町村の公共施設の運営に関する調査研究報告書」 3
- ▶ オール東京62市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト市町村助成事業紹介 4
- ・青梅市 親水事業「おうめ水辺の楽校」^{がっこう}
- ・府中市 府中環境まつり2015
- ・檜原村^{まほろ} 薪作り体験イベント
- ▶ 多摩交流センターだより
- ・多摩発・遠隔生涯学習講座9・10月開催予定の講座案内 5
- ・東京雑学大学10月講義案内 5
- ・広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介 6
- 障がい児・者と家族がみんなで楽しむ タヤけふれあいコンサート
- 多摩エンジョイ講座 ～バス見学会 東京の水、探訪ツアー～
- 東大和フィルハーモニー合唱団 第6回「協奏曲と合唱の調べ」
- ・TAMA市民塾20周年記念事業
知縁コミュニティ・フェスタ開催 7
- ▶ 編集後記 7
- ▶ とっておきスポット～“ココ”で存じますか?～新島村 8

Contents

9月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

自転車とまちづくりに関する調査研究 結果発表シンポジウムを開催しました!

【平成27年7月22日 府中グリーンプラザ】

当調査会では毎年度、市町村の自治に関する調査研究を行っています。このシンポジウムでは、昨年度の「自転車とまちづくりに関する調査研究」の成果を踏まえて、自転車の利用促進と適正利用を両立させ、自転車が有する様々なメリットを活かしたまちづくりを推進するための方策等について考えることを目的としました。約150名の住民の皆様や自治体職員にご参加いただき開催したシンポジウムの模様を報告します。



▲シンポジウム会場の様子

(1) 基調講演

はじめに「自転車をまちづくりに活かす～その基本と実践」と題して基調講演が行われました。ここでは、(株)三井住友トラスト基礎研究所研究理事の古倉宗治氏に「自転車とまちづくり」の全体像をお話いただきました。そのなかで、観光振興などの自転車活用のメリットや、高齢者に適した安全対策の考え方などとともに、市民目線での自転車施策の必要性などについてお話いただきました。

(2) 調査研究結果発表

続いて、平成26年度に当調査会が行った「自転車とまちづくりに関する調査研究報告書」をもとに発表を行いました。そのなかで、多摩・島しょ地域住民の約半数が日常的に自転車を利用していることや、今後は「通勤目的」が減少し、高齢者の「買い物目的」が増加する見通しであることなどを説明しました。そして、事故データなどの客観的情報を把握し、目的を絞って対策を実施するなど、自転車を活かしたまちづくりの将来像の描き方のポイントを説明しました。

(3) 自転車ライフの紹介&実演

続いて、サイクルライフナビゲーターの絹代氏から、「カラダとココロに効く自転車のとっておきの魅力」と題して、自転車ライフの紹介と実演を行っていただきました。そのなかで、自転車が運動に適したものである理由や、運動の達成感がメンタルヘルスにもたらす効能について、本物の自転車を使用してお話いただきました。



▲自転車ライフの紹介&実演の様子

(4) パネルディスカッション

これまでの講演や報告内容を踏まえ、「多摩・島しょ地域における自転車とまちづくりの豊かな未来像を語り合う」と題してパネルディスカッションが行われました。ここでは、外国人向けサイクリングツアー事業を手掛ける肥塚由紀子氏と、自転車先進都市である金沢市で自転車政策に携わる前野真和氏に取組み内容をご紹介いただき、前記の古倉氏・絹代氏とともに活発な意見交換が行われました。

そして、来場者に対して「自転車を楽しむ」「自転車の視点でまちづくりを考える」といった実践の第一歩を踏み出すことを提案し、シンポジウムを結びました。



▲パネルディスカッションの様子

平成26年度 調査研究報告書の紹介

本紙5月号(No.20)で概要を紹介した平成26年度の調査報告書のうち、5件の単年度調査研究報告書について、隔月で詳細を紹介していきます。今号では、「市町村の公共施設の運営に関する調査研究報告書」を紹介します。本報告書は、当調査会ホームページ(<http://www.tama-100.or.jp/>)からダウンロードできます。

市町村の公共施設の運営に関する調査研究報告書

1 背景・目的

高度経済成長期からバブル期にかけて多く建設された公共施設の老朽化に伴う更新は、各自治体にとって大きな課題となっています。

本調査研究は、多摩・島しょ地域における公共施設マネジメントに関する現状と課題を整理し、市町村の今後取り組むべき方向性を示すことを目的として実施しました。

※本調査研究では、市町村でマネジメント可能な建築物(道路等の必須インフラを除く、「箱モノ」)を対象としました。



2 多摩・島しょ地域の公共施設マネジメントの現状

(1) 多摩・島しょ地域市町村の取組状況

- ・公共施設白書等を「策定済み」は約4割
- ・基本方針(基本的な考え方)を「策定済み」は約2割

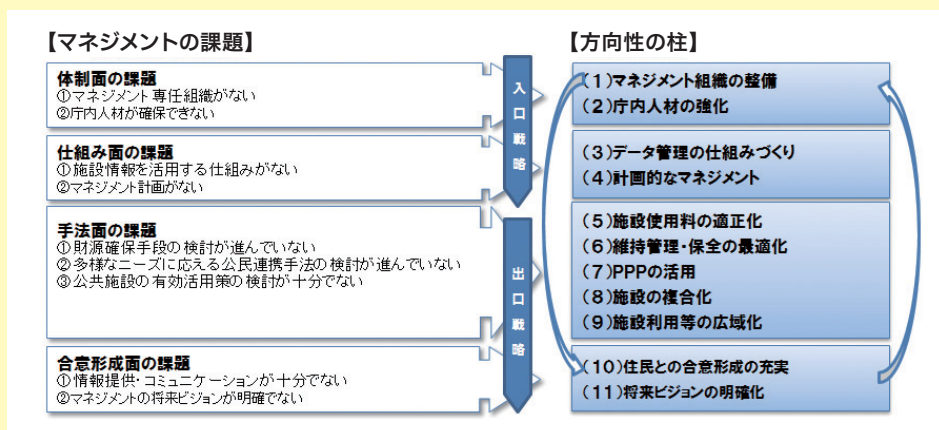
(2) 施設利用者と住民全体の公共施設に対する意識の比較

- ・施設利用者の「施設を増やすべき」は約8割
- ・住民全体での「施設は財政が厳しければ減らすべき」は約8割
(ただし、統廃合等に係る行政からの情報提供は約9割が希望)

3 公共施設マネジメントの方向性

市町村における公共施設マネジメントの「入口戦略」と「出口戦略」における各課題を、「体制面」「仕組み面」「手法面」「合意形成面」の4つに分け、11の解決の方向性を示しました。

特に「住民との合意形成」では、行政が(施設利用者に限らず)住民全体と認識を共有し、責任を持って方針や計画を決定する重要性を強調しました。

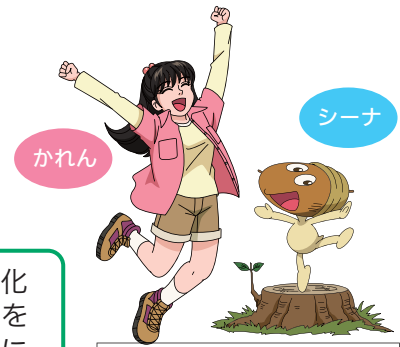




オール東京62市区町村共同事業 みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村助成事業紹介

「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」では、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。今月も、多摩・島しょ地域自治体の助成金活用事業を順番に紹介しています。



かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

① 青梅市

親水事業『おうめ水辺の楽校』^{がっこう}

青梅市

Tama

青梅市では、市内を流れる多摩川と霞川で、小中学生を対象に親水事業「おうめ水辺の楽校」を実施しています。

市内で親水活動に取り組む4団体と市が協働し、稚鮎の放流、魚のつかみ取り・串焼き体験、水辺の生き物調査、魚釣り、炭焼き、カヤック、ライフジャケット浮力体験(川に入り飛び込んだり泳いだりする)、いかだ遊び、虫捕りなど、年間約10事業を実施しています。特に川での安全教育を重視しています。

子どもたちが大自然の中、川遊びを通じて、自然と環境の大切さを体感し、豊かな人間性が育まれることを期待しています。

【問合せ先】青梅市環境政策課 TEL:0428-22-1111



② 府中市

府中環境まつり2015

Tama

府中市

6月6日(土)府中公園にて、市民が地球温暖化防止、自然保護、ごみ減量やリサイクルなど、環境について楽しみながら学び、考えることができるイベントとして「府中環境まつり2015」を開催しました。会場では、市民団体、事業者、学校、行政などによる環境活動紹介や身近な自然について遊びながら学べる工作体験のほか、フリーマーケット、ステージイベントなど様々な催しを行い、延べ2万1千人の方にご参加いただきました。

また、今年は模擬店の食品販売でリユース食器を使用し、イベントによるごみの発生抑制を呼び掛けました。

【問合せ先】府中市環境政策課 TEL:042-335-4472



③ 檜原村

薪作り体験イベント^{まさ}

檜原村

Tama

檜原村で推進している木質バイオマス活用事業の普及啓発を図るため、「薪作り体験イベント」を実施しています。

イベントの内容は、薪製造施設における斧を使用した薪割り体験、自動・手動薪割り機、薪ボイラーの見学を行います。今回も、木質バイオマスで沸かした温泉へ入浴し、檜原村地元の野菜を使った昼食「おいねめし」を食べてリラックスし、その他森林整備を行っている山の現状なども見学・散策する行程を、10月18日(日)に予定しています。

このような体験をしてもらうことで、木質バイオマス利活用の必要性を幅広くPRしています。

【問合せ先】檜原村産業環境課 TEL:042-598-1011





多摩交流センターだより

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会 共催
後援：武蔵野市教育委員会



9・10月開催予定の講座案内

139回

日時 平成27年9月10日(木) 14:30から約1時間
題名 「御門訴事件」から学ぶもの
講師 飯畑 幸男 氏(郷土史研究者)
内容 明治2～3年に、武蔵野新田であった事件。当時、不作・凶作続きの品川県下、今日あすの食糧に困る中で、一方的に備蓄の強要。これに反対した名主はじめ数人の農民が獄死する犠牲者を出した。その上、貯穀した米は腐り民間に丸投げの運用も失敗、大きな損失を招き、結局過半は国庫からの

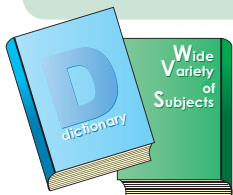
穴埋めをもってするに至る。その根底に見られるものは民を見下し独断専横を許した、自由民権拡張前夜の政治状況にあった。

140回

日時 平成27年10月8日(木) 14:30から約1時間
題名 防災学入門(仮題)
講師 小川 雄二郎 氏(防災インターナショナル代表・元富士常葉大学教授)

- 受講料** 無料(ただし資料代100円)
- メイン会場** 多摩交流センター 第2会議室(申し込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場** 武蔵野市かたらいの道
- ライブ中継・VOD視聴について**
多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先：TEL 070-2648-3520(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

10月講義案内

(会員は受講料無料・会員外は10月8日を除き、1回につき500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1008回	10月1日(木) 14:00から	平均顔から見えてくること(仮題)	小館 香椎子 氏 (電気通信大学特任教授・日本女子大学名誉教授)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1009回 ※	10月8日(木) 14:30から	防災学入門(仮題)	小川 雄二郎 氏 (防災インターナショナル代表・元富士常葉大学教授)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第1010回	10月15日(木) 14:00から	気象災害の変遷	安田 昌弘 氏 (一財)日本気象協会 元気象庁職員)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第1011回	10月22日(木) 14:00から	最近の世相を斬る	秋山 紀勝 氏 (日本ペンクラブ会員・元朝日新聞社記者)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第1012回	10月29日(木) 14:00から	『ああ、野麦峠』『女工哀史』と労働科学の誕生(仮題)	澤野 勉 氏 (十文字学園女子大学講師・元労働科学研究所研究員)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)

☆申し込みは必要ありません。直接会場にお越しください。

※第1009回は、第140回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

[問合せ先] TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)

広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介

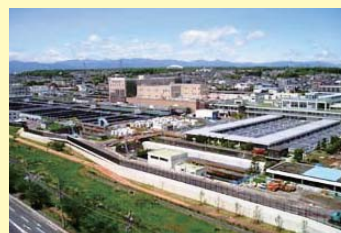
障がい児・者と家族がみんなで楽しむ タヤけふれあいコンサート

- 日時** 平成27年9月26日(土) 14:00~20:00(13:30から会場入口で受付)
- 場所** タヤけ小やけふれあいの里「おおりの家」タヤけホール
<http://yuyakekoyake.jp/>
 (高尾駅北口から陣馬高原下行きバスで約30分「夕焼小焼」下車)
- 内容** I・II部「さわやかな秋風の調べ〜リコーダクラブ」と「心に響く躍動のリズム〜元気太鼓」(14:00~16:00)、III部「冒険night〜みんなで歌おう・踊ろう」(19:00~20:00)
 障がい児・者とご家族が学生・青年ボランティアはじめ地域の皆さんと交流しながらコンサートを楽めます。赤ちゃんからお年寄りまで、誰でも参加できます。III部は参加者全員の集い。歌あり踊りあり、舞台上に立ちたい人・・・みんな集まれ!
- 参加費** 大人:1,000円、高・大生:800円、幼~中生:500円(会費1,000円で入会し夕食・宿泊可*別途料金有り)
- 申込** 用紙に記入のうえFAX、Eメール、郵送のいずれかで9月4日(金)までに事務局へ。※コンサートI・II部参加は事前申込不要
- 主催** NPO法人地球冒険学校準備会
- 問合せ** TEL・FAX 042-646-0459(事務局)
 E-mail:bandana@js9.sou-net.ne.jp
 URL:<http://www.chikyubouken.jp>



多摩エンジョイ講座 ~バス見学会 東京の水、探訪ツアー~

- 日時** 平成27年9月28日(月) 8:40立川駅北口ファーレ集合(厳守) 16:30同所解散(予定)
- 場所** 東村山浄水場~石川酒造
- 内容** 日本の水道水の安全性は世界でも稀だと言われています。そんな安全な水の供給現場のひとつ、多摩川と荒川を水源とする東村山浄水場と、玉川上水から引かれた熊川分水を酒造りに利用した石川酒造を見学し、現存する熊川分水をたどって付近を散策します。水利用の歴史と労苦を知って「東京の水」を見直してみませんか?
- 参加費** 2,100円(バス代の一部、保険代、昼食代)
- 定員** 40名(先着順)
- 主催** 多摩のくらしを考えるコンシューマーズ・ネットワーク
- 問合せ** TEL 090-8720-0181(五十嵐)
 FAX 042-534-0685
 E-mail:chiko1756@hotmail.com
<http://tamaconsumers.blog18.fc2.com/>
 申し込みはFAX又はEメールで、連絡先をお忘れなくお書き添えください。



東大和フィルハーモニー合唱団 第6回「協奏曲と合唱の調べ」

- 日時** 平成27年10月3日(土) 開演14:00(開場13:30)
- 場所** 東大和市民会館ハミングホール(西武拝島線東大和市駅から徒歩7分)
- 内容** だれでも一度は耳にしたことのある傑作、グリーグ作曲「ピアノ協奏曲 イ短調」と、馴染みはないけれど、声楽曲としては第一級の知られざる名曲、シューベルト晩年の「ミサ曲変ホ長調D950」を組み合わせたユニークな演奏会です。指揮:松井眞之、ピアノ:安保美希、管弦楽:マイスターシンフォニカ、ソプラノ:鈴木さおり、メゾソプラノ:朝倉美和、テノール:小城龍生・佐藤圭、バリトン:原田圭。
 チケットのお問い合わせは下記までお早めに。
- 入場料** 2,500円(全席自由)
- 主催** 東大和フィルハーモニー合唱団
- 問合せ** 丸山 TEL 090-1124-3747
 E-mail:maru868131@yahoo.co.jp
 URL:<http://higashiyamato-phil.com>



TAMA市民塾20周年記念事業 知縁コミュニティ・フェスタ

開催

- 開催日時** 平成27年10月17日(土) 10:00~17:30
- 会場** 多摩交流センター(府中駅北第2庁舎6階、京王線府中駅から徒歩3分)及び
府中グリーンプラザ(京王線府中駅徒歩1分)
- 開催内容** ☆多摩交流センター 会議室
リコーダー、フルート演奏や朗読の舞台発表
- ☆府中グリーンプラザ 5階展示ホール及び6階大会議室
絵画、パッチワークなどの作品展示と朗読、ウクレレ演奏などの
舞台発表



TAMA市民塾講座から活動を継続している自主グループが参加するイベントです。
TAMA市民塾の講座を受けたことのある方はもちろん、興味がある・これから受講したいという方もぜひ
ご来場ください。

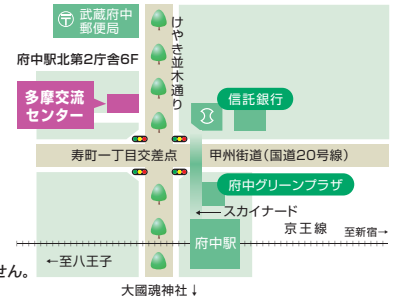
また、両会場でスタンプラリーを実施します。皆様のご来場をお待ちしています。
※詳細は当調査会ホームページ(<http://www.tama-100.or.jp/>)をご覧ください。
※問合せ TAMA市民塾 TEL 042-335-0111

「多摩交流センターだより」の問合せ先

(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階
TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127 Eメール tama001@tama-100.or.jp
ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を
目的として活動しています。



編集後記

- 本編記事のとおり、先日、府中グリーンプラザけやきホールで当調査会理事長の並木羽村市長と開催地の高野府中市長を迎えて、平成27年度調査研究結果発表シンポジウム「自転車のチカラでまちづくり」が開催されました。
当日は、大勢の市民や自治体職員が講師の話やパネルディスカッションに熱心に耳を傾けていました。
- いま、自転車を取り巻く環境は、大きな変化を迎えています。本年6月の道路交通法改正では、多発する自転車関連事故やマナー悪化防止の対策として、「自転車のルール違反」がクローズアップされました。
報道では「3年以内に2回以上の交通ルール違反をした14歳以上の者には、安全講習の受講が義務付けられ、手数料は5,700円、受講しなければ5万円以下の罰金刑が適用される」などの規制強化について多く取り上げられています。
- 一方で、東京都は2020年オリンピック・パラリンピック開催を見据え、自転車推奨ルート整備やルール・マナーの徹底、シェアサイクルの促進、観光手段としての自転車活用などの取り組みを表明したことがエポックとして挙げられます。
- 行政が行う自転車の施策というと、とかく「放置自転車」、「事故防止」などの規制・安全対策や「駐輪場」、「自転車専用レーン」整備などのハード施策を思い浮かべる方が多いと思います。
- 講演に出演していただいた講師やパネラーの皆さんは、いずれも自転車の特性や効果を熟知しており、自転車の活用は、単なる移動手段としてだけではなく、健康づくりや環境負荷軽減、観光、災害時にも即応できるなど、多くの可能性を持った、スーパー施策であることを紹介していました。
- また、自転車活用の様々な効能やアイデア、先進事例の発表があり、多摩・島しょ地域でも参考になる多くのヒントが示されました。
- 講演終了後、出演者全員が楽屋にもどり、自転車談義で盛り上がりを見せて、なかなかお開きにならなかったことが、とても印象的でした。
- これを機会に、高齢者から子どもまで安全、快適、便利に自転車が活躍するまちづくりへの取り組みが進めば幸いです。
(M.N)



とっておきスポット

第12回 新島村

“ココ”
ご存じ
ですか?

新島村といえば、表紙の羽伏浦海岸を連想するかもしれないけど、今回はわたげのボクが「向山展望台」を紹介するよ。



向山展望台は、標高235mにある展望台なんだ。夕暮れ時には、こんな美しい夕日を眺めることもできるんだよ。この辺りでは、世界でもイタリアのリパリ島と新島でしか採れない『コーガ石』を採掘することができるんだ。このコーガ石は、島内のいろんなところにあるモヤイ像や民家に使用されてるんだって。渋谷駅にある『モヤイ像』も新島産のコーガ石で作られてるんだよ。

向山展望台には、平成25年に完成した約890mのトレッキングコースもあるんだ。眼下には同じ新島村である式根島、その奥には神津島が続く太平洋の大パノラマが広がっているよ。

北側は伊豆半島や大島などを見渡すことができ、天候に恵まれれば富士山まで望めることもあって、訪れた方の絶好のパワースポットになってるんだって。

美しい夕陽を眺め、木々や鳥のさえずりを感じ、ハイキングを五感で楽しむ、そんな贅沢な“しま時間”を体感しに、みなさんもぜひ、ふわっといってみて!



【現地案内】
新島港から車で15分



【情報・写真提供】新島村企画財政課

【発行日】平成27年9月1日

【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会

【責任者】岸上隆

〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>



再生紙を使用しています。